

厚木市観光振興推進委員会第2回会議次第

日時 令和5年2月22日(水)
午後2時から
場所 あつぎ市民交流プラザ
6階 ルーム604

1 開 会

2 挨拶

3 案 件

(1) 令和4年度事業の実施報告について . . . 資料1

(2) 令和5年度事業について . . . 資料2

(3) 観光振興に係る意見交換について

4 その他

5 閉 会

厚木市観光振興推進委員会名簿

	役 職	氏 名	選 出 団 体
1	委員	松浦 広明	松蔭大学観光メディア文化学部
2	委員	栗原 真仁	小田急電鉄株式会社
3	委員	鈴木 徹	神奈川中央交通東株式会社
4	委員	鈴木 笑美	厚木ホテル協議会
5	委員	石川 義仁	飯山観光協会
6	委員	黄金井 康巳	七沢観光協会
7	委員	原田 久仁子	厚木商工会議所
8	委員	根岸 邦夫	あつぎ観光ボランティアガイド協会
9	委員	佐藤 桃子	市民公募
10	委員	坂本 直子	市民公募

【オブザーバー】

	役 職	氏 名	所 属
1	専務理事兼事務局長	加藤 明夫	一般社団法人厚木市観光協会

【事務局】

	役 職	氏 名	所 属
1	部長	高橋 幸雄	厚木市産業振興部
2	課長	大貫 博之	厚木市産業振興部観光振興課
3	係長	川内 伴秀	厚木市産業振興部観光振興課観光振興係
4	副主幹	福島 弘一	厚木市産業振興部観光振興課観光振興係

令和4年度主な事業の実施状況について

1 あつぎ飯山桜まつり開催事業

(あつぎ飯山桜まつり実行委員会委託事業)

(1) 事業目的

桜の開花に合わせ、各種催しを飯山白山森林公園で開催し、にぎわいの拠点を創出するとともに、市内外から広く集客を図ることで、飯山地区を始めとする本市の観光振興や市民相互の交流促進を図る。

(2) 事業経過及び実績

厚木市の代表的な観光地として市民や県内外の方々に親しまれている飯山白山森林公園の「桜の広場」を中心に、桜の開花期に合わせ「第58回あつぎ飯山桜まつり」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

2 あつぎ鮎まつり開催事業

(あつぎ鮎まつり実行委員会委託事業)

(1) 事業目的

伝統ある「あつぎ鮎まつり」を市民参加のもと魅力あるイベントとして開催することで、市のイメージアップと観光客の誘致を促し、市民相互の触れ合いと地域経済の活性化を図る。

(2) 事業経過及び実績

令和4年度については、8月6日、7日に事業を縮小し開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により11月5日に延期開催した。

来場者数：18万人

3 健康づくり村推進事業

(1) 事業目的

地域活力の再生を図るため、地域における自然的特性、文化並びに多様な人材の想像力を活かし、官民連携のもと地域の創意工夫を凝らした自主的かつ自立的な取組として「健康づくり村推進事業」を展開する。

(2) 事業経過及び実績

ノルディックウォーキングや病院スタッフによる健康に関する講座など、自然豊かな七沢、飯山のフィールドを活用し、森を楽しみながら心と身体の健康維持・増進、病気の予防を目的としたプログラムを実施予定。

ア 健康づくり大学

(ア) お寺ヨガ体験

日程 令和4年10月1日(土) 定員 20人

会場 飯山観音長谷寺

(イ) 温泉ヨガ体験

日程 令和4年10月23日(日) 定員 20人

会場 玉翠楼

(ウ) ノルディックウォーキング&ヨガ体験

日程 令和4年11月26日(日) 定員 20人

会場 玉翠楼ほか

(エ) 心と身体の健康づくり講座

日程 令和5年1月15日、29日、2月5日

会場 元湯玉川館、玉翠楼

イ 森林セラピー

七沢森林公園内散策

日程 令和4年11月17日(木) 定員20人

自然観察×ヨガ

日程 令和4年12月3日(土) 定員20人

ワークショップ×森林セラピー(若宮公園)

令和4年12月18日(日) 定員20人

ミツマタ鑑賞ハイキング(七沢出発)

日程 令和5年3月21日(火) 定員20人

4 受入環境整備推進事業 受入環境整備事業補助金

(1) 事業目的

観光地としての付加価値を高めるため、観光事業者に対し、受入環境整備に係る事業に対し補助金を交付する。

(2) 事業経過及び実績

講演会及び観光資源巡りバスツアーを開催する。

ア 日時 令和5年3月8日(水) 午後1時から午後4時45分まで

集合 レンブラントホテル厚木2階 紅

イ いちご狩り体験

会場 厚木農園

ウ 亀石見学

エ 酒蔵見学

会場 黄金井酒造

5 観光プロモーション事業

(1) 観光プロモーション事業費

ア 事業目的

本市の観光情報を広く紹介するため、パンフレットを作成する他、各種メディアやSNSを活用するなど、ターゲットを絞って情報を発信する。

本市の観光資源の良さを体験してもらうためのプロモーションを展開する。

イ 事業経過及び実績

(ア) ハイキングマップの作成

市内ハイキングコースを紹介する登山ガイドを現在、作成中。

- ・部数 10,000部
- ・配布時期 令和5年3月予定

(ウ) 観光プロモーション動画の作成

サイクリングの広告動画をSNS、Facebook、Instagramで配信する。

- ・配信期間 3月

(2) 交通事業者連携プロモーション事業補助金

(厚木市観光協会補助金事業)

ア 事業目的

厚木市観光協会が実施する、入込観光客の拡大、回遊性の向上、地域経済の活性化等を目的に、交通事業者と連携し、厚木市の観光PRを展開する誘客キャンペーンに対し、補助金を交付する。

イ 事業経過

東丹沢七沢温泉郷及び飯山温泉郷を中心とした観光地域の魅力を発信するため、タクシー事業者及び小田急電鉄株式会社と連携して本市の観光PRを展開し誘客を図る。

(ア) タクシー事業者連携事業

市内に点在する観光拠点の訪問をタクシー利用により展開し、周遊型観光の促進を図る。

(イ) 小田急電鉄(株)連携事業

厚木の魅力を発信するポスター掲出・リーフレット配架を行う。

飯山七沢への誘客モデルコースを造成する。

6 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業

(1) 事業目的

飯山白山森林公園桜の広場周辺基本構想を基に、桜の広場周辺整備を実施する。

(2) 事業経過及び実績

次年度に整備を行うための現況測量を実施する。

工期 令和4年9月21日(水)から令和4年11月11日(金)まで

7 アウトドアツーリズム推進事業

(1) 事業目的

体験型コンテンツとして、コロナ禍で人気が高まるアウトドアに着目し本市の豊かな自然を活用した体験型コンテンツとしてサイクリングやアウトドアイベントを開催し、地域の活性化を図る。

(2) 事業経過及び実績

ア ATSUGI OUTDOOR STYLE (アツギ アウトドア スタイル)

キャンプ道具・ウェアなどの展示販売や、自転車試乗会、ハンモック・火起こし体験、トレイルランニング講習、焚火・ランタン体験を実施する。

開催期間 令和5年1月20日(金)13~20時・21日(土) 10~16時

開催場所 荻野運動公園(中荻野1500)多目的広場

来場者 3,000人

イ 厚木 de サイクル・デジタルスタンプラリー

専用のアプリをダウンロードし、コース上にあるポイントでデジタルスタンプ(2次元コード)を集めた方に特典を進呈する。

開催期間 令和5年1月7日(土)~2月28日(火)

開催場所 市内周遊・大山周辺・宮ヶ瀬湖周遊の3コース

令和 5 年度事業について

「第 2 次厚木市観光振興計画」に基づき、計画の中で定める 4 つの基本方針を念頭に、次の事業を実施する。

4 つの基本方針

観光資源のブラッシュアップ・再発掘
広域観光の推進、関連事業者等との連携
ターゲットを絞ったプロモーション
受入環境の整備

1 観光行事推進事業【方針】(継続)

あつぎ鮎まつりを中心に魅力ある観光イベントを開催することで、市内への集客向上を促し、地域経済の活性化を図る。

2 観光プロモーション事業【方針】(継続)

本市の魅力を発信し誘客につなげるため、ハイキングガイドの改定や、SNS、看板への広告掲載などの情報発信のほか、友好都市で行われるイベントに出店する事業者を支援するなど新たな観光客誘致に取り組む。

3 交通事業者連携プロモーション事業補助金【方針】(継続)

交通事業者と連携して誘客拡大に向けたプロモーションを実施する厚木市観光協会に対し、費用の一部を補助する。

4 受入環境整備事業補助金【方針】(継続)

観光地としての付加価値を高めるため、観光事業者が行う受入観光整備に係る事業に対し補助金を交付する。

また、厚木市観光協会が実施する旅行者の受入環境向上を図るための事業に対し補助金を交付する。

5 飯山白山森林公園桜の広場整備事業【方針】(継続)

飯山白山森林公園桜の広場とその周辺エリアを年間通して観光客でにぎわう魅力的な観光拠点とするため、整備を行う。

6 不動屍の整備事業【方針 Ⅰ】(継続)

落石や土砂崩れなど未整備箇所がある不動屍を、ミツマタ群生地や不動の滝など景観が楽しめる安全で魅力ある観光地として整備する。

7 アウトドアツーリズム推進事業【方針 Ⅱ】(継続)

コロナ禍で人気が高まるアウトドアに着目。本市の豊かな自然を活用した体験型コンテンツとして、サイクリングやアウトドアのイベントを開催し、地域の活性化を図る。

8 観光資源創出事業補助金【方針 Ⅲ】(継続)

イベントや事業等を通じて新たな観光資源の創出に取り組む事業者や団体等に対し、その費用の一部を補助する。

9 広域連携観光推進事業【方針 Ⅳ】(継続)

点在する観光資源を束ね、広域連携による観光プロモーションを行うことで、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図ることを目的に、近隣市町村と連携した事業を展開する。